

関係者各位

関西電力大飯発電所3、4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

16日20時36分頃、大飯発電所3、4号の中央制御室において「海水淡水化装置制御盤注意」の警報、現場盤において「起動排水槽水位高」の警報が発生しました。20時51分頃にこれら警報はリセットされています。

現場確認の結果、20時38分頃、起動排水槽から水があふれ、側溝に流入していることを確認しました。

現在、起動排水槽からの水があふれは停止していること、側溝から海等の構外には流出していないことを確認しました。

海水淡水化装置の操作に伴い生じる排水を受ける水槽。

側溝にたまっている水について、22時頃、pHが9程度と排水の管理値(5.8から8.6)よりも若干高いこと(アルカリ性)が確認されました。

このため、これから中和作業を実施します。

あふれた水は海水淡水化装置の処理水であり、放射性物質は含まれていません。

発電所内への淡水の供給は、他の海水淡水化装置により問題なく行われています。

大飯3、4号機の運転に影響はありません。

水があふれが発生した原因については現在調査中ですが、pHの調整の不調により、海への排水を停止したことに伴い、起動排水槽へ水を回収するラインへ切り替えを行ったことから、起動排水槽から水があふれたものと推定しています。

以上